

## Ⅱ 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進

### 1 概要

#### ● 森林ボランティア活動の推進

「森林ボランティア支援センター」を運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジン等による情報の収集・発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し、森林ボランティア体験会の開催など、森林ボランティア活動への一体的なサポートを実施します。

また、「森林ボランティア体験会」や「ボランティア交流会」の開催、市町村提案型事業等への講師・コーディネーターの派遣業務等を実施します。

#### ● 森林環境教育の推進

新たな「緑のインタープリター」を養成し、小中学生を対象にしたフォレストリースクールや市町村提案型事業(森林環境教育)、緑の少年団育成事業、県民を対象にした自然観察会、自然講座等への派遣などを通じて森林環境教育を推進します。

### 2 実施状況

【平成29年度の実績】

12,406千円

#### ○森林ボランティア活動の推進

- ・森林ボランティア支援センターの運営
- ・専用ホームページ「モリノワ」の運用
- ・情報誌「モリノワ」、メールマガジンの発行
- ・森林整備作業用の機械・器具の貸出し:72回
- ・安全講習会の開催 開催回数:10回  
参加人数:152名
- ・森林ボランティア体験会の開催:3回開催
- ・森林ボランティア交流会の開催:1回開催

#### ○森林環境教育の推進

- ・緑のインタープリター養成講座の開催  
12回(養成者数24名)
- ・緑のインタープリター登録者数:113名
- ・フォローアップ研修 開催回数:3回
- ・森林環境教育コーディネーター派遣:5名



## 3 成果

### ○森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センターを運営し、専用ホームページや情報誌、メールマガジンなどによる情報発信や刈払機取り扱いなどの安全研修、森林整備作業器具の貸出、ボランティア体験会・ボランティア交流会などを実施し、森林ボランティア団体の活動を支援しました。

### ○森林環境教育の推進

- ・指導者養成講座の実施により、新たに24名の「緑のインタプリター」を養成しました。
- ・新たに開始した「緑のインタプリター活動登録制度」により113名が活動登録しました。
- ・登録した緑のインタプリターは、市町村提案型事業(森林環境教育)や出前授業の「小・中学生のためのフォレストリースクール」の講師など多方面で活動を行いました。
- ・市町村提案型事業(森林環境教育)を円滑かつ効果的に運営するため、新たにコーディネート業務を実施しました。

## 4 課題・方向性

### ○森林ボランティア活動の推進

- ・県民自らが森林や林業に関心を持ち森林保全や森林整備の必要性について理解を深めることが重要なことから、森林ボランティアに取り組む団体等の支援をさらに推進する必要があります。

### ○森林環境教育の推進

- ・森林や自然に対する県民の関心と理解を深めるためには知識・ノウハウのある指導者が不可欠なことから、引き続き指導者の計画的な養成を図っていく必要があります。
- ・また、フォレストリースクールや市町村提案型事業(森林環境教育)等の指導者ニーズに対応するため、指導者の量的・質的確保を図る必要があります。

## 5 実施状況の評価（評価者：県）

### ○森林ボランティア活動の推進

専用ホームページや情報誌、メールマガジンによる情報収集・発信、刈払機などの安全研修、森林整備作業器具の貸出、ボランティア体験会の開催などの取組を行い、おおむね計画どおりに支援を実施しました。

平成29年度末の森林ボランティア団体数は87団体、会員数4,927人(緑化推進課調査)と増加傾向にあります。

### ○森林環境教育の推進

現地研修や講師実習など実践的なカリキュラムを含め年12回の講座を開催し、24名の「緑のインタプリター」を養成しました。なお、活動登録者数は113名となり、着実に増加しています。

## 6 評価検証委員会の意見

## Ⅲ 市町村提案型事業（市町村補助）

### 1 概要

#### ● 荒廃した里山・平地林の整備

市町村と地域住民や NPO・ボランティア団体等の協働による地域に根ざした森林整備を支援します。

#### ● 貴重な自然環境の保護・保全

市町村あるいは市町村と地域住民が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援します。

#### ● 森林環境教育・普及啓発

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動を支援します。

森林の機能や重要性について普及啓発する取り組みを支援します。

#### ● 森林の公有林化

水源地域の森林や平地林の購入(公有林化)あるいは平地林を造成しようとする市町村を支援します。

#### ● 独自提案事業

ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業であると認められ、評価検証委員会の承認を得た事業を支援します。

### 2 実施状況

【平成29年度の実績】

233,418千円

#### (1) 平成28年度繰越

・平成28年度事業のうち、以下の事業については繰越により平成29年度に実施しました。

	繰越			完了			事業量	廃止		
	市町村数	事業数	補助金額(千円)	市町村数	事業数	補助金額(千円)		市町村数	事業数	補助金額(千円)
荒廃した里山・平地林の整備	6	21	31,932	6	19	25,679	森林 5.8ha、竹林 3.9ha	1	2	466
貴重な自然環境の保護・保全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
森林の公有林化	1	1	530	1	1	0	水源林 2.64ha	—	—	—
独自提案事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7	22	32,462	7	20	25,679		1	2	466

## (2) 平成29年度採択状況

・平成29年度は以下の事業を採択しました。

	計			事業計画量
	市町村数	事業数	補助金額 (千円)	
荒廃した里山・平地林の整備	29	242	231,707	森林 48ha、竹林 42ha、管理 185ha
貴重な自然環境の保護・保全	11	21	4,348	動物 12種、植物 30種
森林環境教育・普及啓発	21	40	20,405	覚満淵等での自然観察会
森林の公有林化	2	2	20,000	水源林 20ha
独自提案事業	2	2	3,540	竹林 0.5ha
合計	35	307	280,000	

## (3) 平成29年度事業実績

・平成29年度は以下の事業を実施しました。

※括弧は概算払額

	完了			事業量	参考:繰越			(廃止)		
	市町村数	事業数	補助金額 (千円)		市町村数	事業数	補助金額 (千円)	市町村数	事業数	補助金額 (千円)
荒廃した里山・平地林の整備	29	205	164,178	森林 34.1ha 竹林 31.9ha 管理 182.7ha	3	9	3,532	12	28	42,473
貴重な自然環境の保護・保全	11	21	4,232	動物 12種 植物 31種	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	20	39	18,257	約 10,700人	—	—	—	1	1	200
森林の公有林化	2	2	19,668	水源林 19.9ha	—	—	—	—	—	—
独自提案事業	2	2	1,404	森林・竹林 2.3ha	—	—	—	—	—	—
合計	35	269	207,739		3	9	3,532	13	29	42,673

・市町村提案型事業の実施状況



荒廃した里山・平地林の整備（中之条町）

・市町村提案型事業の実施状況



荒廃した里山・平地林の整備（みどり市）



貴重な自然環境の保護・保全（孺恋村）



貴重な自然環境の保護・保全（邑楽町）



森林環境教育・普及啓発（大泉町）



森林環境教育・普及啓発（高崎市）



独自提案事業（渋川市）



### 3 成果

- ・ 制度の普及に努めた結果、平成29年度(平成28年度繰越を含む)は県内全市町村(35市町村・289事業)で取り組みが行われました。
- ・ 里山・平地林整備や独自提案事業において、森林や竹林整備を実施し、野生獣の出没抑制、生活道路や通学路の見通しの確保等が図られ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られました。
- ・ 自然環境の保護・保全については、刈り払い等の環境整備を行うことにより、43種の希少種の保護が図られました。
- ・ 森林環境教育の参加者については、平成28年度に約9,500人でしたが、平成29年度は約10,700人と参加者が増加しました。
- ・ 説明会の開催等、事業を普及してきた結果、平成30年度においても県内全市町村から事業計画書が提出され、平成30年3月に開催された評価検証委員会において、当初予算(280,000千円)に相当する事業が承認されました。

### 4 課題・方向

- ・ 県内全市町村で事業が執行された一方で、廃止となった事業がありました。廃止理由にはやむを得ないものもありますが、制度の周知不足と思われる案件も散見されることから、より一層市町村との連携、周知に尽力します。
- ・ 里山・平地林整備における管理事業は、年々面積増加が増加していくことから、市町村と連携し、管理団体の確保や必要な支援を検討していきます。
- ・ 県民税事業により整備された箇所が、地域の人に県民税事業の成果として認識してもらうため、看板やのぼり旗等を整備することで事業のPRを行います。

### 5 実施状況の評価(評価者:県)

- ・ 県内全市町村において市町村提案型事業が活用され、県民税事業の推進が図られました。
- ・ 荒廃した里山・平地林の整備については、管理団体の人員不足等により、管理の実施が年々厳しくなっている実情があるため、市町村と連携し、ボランティア団体の活用や地元管理団体の育成を図っていきます。
- ・ 自然環境の保護・保全については、この事業を行ったことで、新たに希少種の生育が確認されるなど、一定の成果が得られました。
- ・ 森林環境教育については、作業や体験を伴う事業を通じて多種多様な切り口から森林についてその大切さや役割を学んでもらうことができました。

## 6 評価検証委員会の意見